

地場産を活かした「手づくり長屋」が、さらに集客を伸ばす

新 庄 T C M (株)

機関名	新庄TCM株式会社			
所在地	山形県新庄市沖の町10-18			
電話番号	0 2 3 3 - 2 8 - 8 3 1 9			
地域概要	(1)管内人口	4万1千人	(2)管内商店街数	8商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	2商店街	(2)会員数	167商店
	(3)空店舗率	14.9%	(4)大型店空き店舗数	2店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 <u>3.地域型商店街</u> 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成14年度 活性化対策事業

3つの空き店舗を活用

- ・まちづくり啓蒙スペースとしての活用
- ・エコステーションの設置によるリサイクル
- ・商店街の情報発信
- ・昔の遊び・遊具製作体験、カルチャー教室
- ・地元農家と住民の交流スペースの設置
- ・語り長屋、手づくり教室の開催等

総事業費

6,105千円

【事業実施内容】

1. 背景

平成11年12月に山形新幹線が新庄まで延伸し、新庄を訪れる人が格段に増加したことにより、ターミナルのJR新庄駅に併設する広域交流拠点施設「ゆめりあ」には、一日当たり4,500～7,500人の来場者が訪れている。

しかし、「ゆめりあ」を訪れた人が商店街までなかなか足を伸ばさないで、駅から駅前通り商店街、そして南・北本町商店街へと、どのように人の流れをつくっていくかが課題となってきた。

そこで、街区が500mと長い駅前通り商店街の途中にある空き店舗を活用することとなった。



新庄駅 駅前通りマップ

この空き店舗対策事業は新庄市TMO構想の「手づくり長屋事業」として位置づけられる。平成13年度は、駅前通り商店街の2つの空き店舗を活用して、「新庄の伝統工芸」、「手作り」、「語らい」というテーマから集客のイベントを展開してきた。

平成14年度はこれに加え、新たに空き店舗を活用し、「地産地消」、「環境=エコ」という切り口でイベントをこまめに行い、中心市街地に点在する3つの空き店舗を回遊してもらうことにより、商店街に滞留する時間を多くするよう試みることとなった。

2. 事業内容

平成14年度空き店舗対策事業では、平成13年度から継続している「伝統工芸」「手づくり作品」の店に加えて、新たに農業生産者やNPOとの連携をはかり、「安全安心な食品」の販売、無農薬大豆を使った豆腐の販売をメインとした、手づくり長屋3号店を開店し事業を展開した。用意した空き店舗は、商店街の大型店（生協、コピア新庄店）に隣接する場所で、比較的人が流れる立地である。

(1) 手づくり長屋1号店・体験工房「機織り長屋」の運営（年間来店者数3,000人）

新製品の試作を行い、新商品のコーナーを設け展示、販売を開始。集客イベントとして11月に「かめあや感謝祭」、3月に「地域伝統織物店」「新庄まちなかひなめぐり」「まちなかギャラリー」を実施した。また、機織り後継者育成教室を開催した。

(2) 手づくり長屋2号店・ふれあい工房「語らい長屋」の運営（年間来店者数5,400人）

手づくり体験教室、手づくり作品の個展を開催。1号店と同様に「新庄まちなかひなめぐり」と「まちなかギャラリー」を実施した。

(3) 手づくり長屋3号店・「奴っこ本舗」の開店、運営（来店者数11月～3月 4,200人）

北本町商店街にある空き店舗を活用し、農家グループと共に安全安心な農作物を提供する場を開設した。まちづくり情報提供やバイオマスセンターのPRを行い交流スペースとして活用した。またNPO団体と連携し、「絵本の読み聞かせ」、「子育て支援情報」の提供の他、まちづくり情報コーナーを設置し、交流スペースとしての活用を行った。

(4) 集客イベント

集客イベントとして、3号店の開店に合わせ商店街を会場に市内中学校の販売体験・フリーマーケット・鍋振舞を行い、にぎわいを創り出した。また、3店舗で「まちなかギャラリー」を実施、さらに商店街の16店舗の参加を得て「新庄まちなかひなめぐり」を実施した。



3号店「奴っこ本舗」正面と内部

【効 果】

- (1) これらの事業を行ったことで、機織り長屋の来店客は前年と比べ横這いに留まったが、語らい長屋での来店客数は前年比2倍を超え、売上は月によって3倍を超えるときもあった。手作り体験教室のメニューも増え、作品出店者も年度当初の3倍になり、利用者が広がり、まちの中で「たまり場」的な存在となっている。
- (2) 3号店の来店者数は、1日当たり30~70人の実績をあげ、商店街周辺の住民と生産者のつながりができつつある。
- (3) 子育て支援NPOに活動の場を提供したことで子供を抱える層の来店も促すことができ、客層を広げる要因ともなった。
- (4) 集客イベントでは、体験学習を兼ねた中学生の参加がにぎわいを創り出し、今後のイベント展開において参考となった。また、まちなかギャラリー展では、それぞれの店舗での展示スペースの課題が残ったが、まちなかひなめぐりでは、商店街を子供、子連れの家族が歩き回る姿を多く見かけ、効果は大きかったと思われる。

【課題・反省点】

- (1) 新庄TCMの空き店舗対策事業の事業費は、各々の活用スペース部分を各自負担。スタッフについても各々が担当した。開店がずれ込み、農産物の最盛期が過ぎてしまったため、店内での品数が限られ加工品が中心となり、地元の安心安全な農産物を十分にPRすることができなかった。
- (2) モノを作る技術・モノを売る技術・人を集める仕掛けが、かみ合っとうまく事業が展開していくわけであるが、14年度は事業の主旨が農業生産者団体の末端のメンバーまで伝わらずにスタートした。今後は店のPRは勿論のこと、「地産地消」の目的をこの事業に参加する生産者にも明確に伝える必要性を感じた。
- (3) 今後、この店舗について農業生産者団体が運営していくわけであるが、集客策や販売方法などいろんな角度から支援していきたい。

平成15年4月からは、地元農業者団体が無農薬大豆で作った豆腐や農産物の販売を継続している。しかし平成15年5月に隣接するコピア新庄店が閉店し、商店街への集客力の低下が予想される。従って来店者も減っている

新庄の 無農薬大豆で作った

もめん豆腐……260円	味噌1kg……980円
よせ豆腐……160円	醤油1升…1,450円
がんも……170円	天然粗塩……900円
厚あげ……160円	味噌750g……850円
豆あげ……150円	醤油900ml……850円
豆腐乳……240円	有機卵10ヶ入 300円

その他、無農薬味噌、鮎、天然にがり、みりん、ヤマドリ液等取りそろえております。全て無化農薬の安全な食品ですので、安心してご賞味下さい！

市内配達いたします。
お気軽にお電話ください。

農業法人 新庄農上有機農業者協会
安心・安全の店
奴っこ本舗
TEL0233-23-3450
FAX0233-28-8468

豆腐 豆乳

奴っこ本舗

市街プラザ

●日曜定休
●午前10:00~午後6:00

各種無農薬茶
(粉茶、煎茶、番茶、ほうじ茶) **400円より**

フリーマーケット
がびてん市 開催!

日時 / 3月23日(日)
場所 / こびあ店舗内

出店者募集!!
受付 / 北本町さびあ前
午前9:30~

出店料 / 1コマ500円
※忘れし、洗濯15コマ。
事前申し込みが必要!必ず!

お申し込み、お問い合わせ /
新庄TCM(株) TEL28-8319

最上オープンカレッジ
バイオマスセミナー
空を科学する
最上地域のバイオマス技術の活用

●日時: 平成15年3月15日(土) 午前10時~

●会場: 最上広域交流センターゆめりあ「会議室」(2階)

●受講料: 無料 (お弁当も参加できます) 一般の参加費は500円

10:10 講演 1000 円会
「空を科学する」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

12:00 閉会

※お問い合わせは
新庄市企画調整課 電話・産学連携推進室
TEL22-2111 (内線242)

バイオマス企業フォーラム

先進地における最先端の取り組み事例を研究し、新庄市におけるバイオマス活用による新産業の創出の可能性、地域振興社会における企業の役割について考える

→ 国産大豆産地振興協議会(仮)の第1回定例会

●日時: 平成15年3月15日(土) 午後2時~4時30分

●会場: 最上広域交流センターゆめりあ「会議室」(2階)

●受講料: 無料 (お弁当も参加できます) 一般の参加費は500円

14:10 講演 1400 円会
①「無農薬大豆」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

②「畜産の環境に対する取り組み」
佐藤 隆夫氏
(早稲田大学農学部教授)

③「バイオマス(ガス)システム」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

16:30 閉会

※お問い合わせは
新庄市企画調整課 電話・産学連携推進室
TEL22-2111 (内線242)

最上地域のバイオマスフォーラム
～最上地域バイオマスフォーラム～

●日時: 平成15年3月16日(日) 午後1時~4時30分

●会場: 新庄市プラザ大ホール1F

●参加費: 無料 (お弁当も参加できます)

第1部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第2部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第3部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第4部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第5部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第6部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第7部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第8部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第9部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第10部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第11部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第12部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第13部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第14部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第15部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第16部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第17部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第18部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第19部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第20部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第21部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第22部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第23部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第24部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第25部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第26部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第27部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第28部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第29部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第30部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第31部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第32部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第33部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第34部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第35部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第36部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第37部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第38部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第39部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第40部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第41部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第42部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第43部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第44部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第45部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第46部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第47部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第48部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第49部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第50部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第51部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第52部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第53部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第54部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第55部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第56部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第57部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第58部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第59部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第60部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第61部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第62部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第63部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第64部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第65部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第66部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第67部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第68部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第69部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第70部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第71部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第72部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第73部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第74部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第75部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第76部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第77部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第78部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第79部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第80部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第81部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第82部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第83部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第84部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第85部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第86部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第87部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第88部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第89部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第90部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第91部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第92部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第93部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第94部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第95部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第96部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第97部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第98部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第99部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

第100部 講演 1400 円会
「バイオマス」 大友 俊光氏
(早稲田大学バイオセンター長兼 早稲田大学農学部教授)

奴っこ本舗のチラシ

76

ものの、店をよりアピールすることでリピーターの確保に努めていく必要がある。また、交流スペース部分においては「安全な食物」をキーワードに消費者との懇談会を行い、農業者団体とのつながり保持に努める。

【教 訓】

まちづくり会社・農業生産者団体と各々の目的は必ずしも一致しないが、平成14年度は「商店街での地産地消」と共通する部分でパートナーシップをはかり事業展開を行った。その中での役割分担をもっと明確に整理することにより、効果は大きくなると思われた。商店街での受け入れ体制、農業生産者の多数の参加という点で課題を残した。

今度は、住民のニーズを的確につかむことにより生産者との注文販売の可能性を探り、平成14年度に開店した3号店を、ヒト・モノ・情報の交流スペースとして活用する場に位置づけていきたい。

【関 連 U R L】

新庄TCM株式会社 <http://www.ndaju.co.jp/tcm/index.htm>